



議会だより

かつらぎ

Gikai 2023.8 (令和5年)

発行／和歌山県かつらぎ町議会
編集／議会だより編集特別委員会

98号



おはようございます！スクールバスで安心登校（笠田小学校）

主な内容

豪雨災害対策 7億円予算措置 2ページ

こんな施策が喜ばれています 10ページ

一般質問 町民のおもいを届ける60分 12ページ

6月会議

6月会議(6/1~16)

専決処分	5件
人 事	14件
補正予算	8件
条 例	7件
事件議決	2件
諸 報 告	3件
請 願	1件
陳 情	1件
一般質問	5人

6月会議では、固定資産評価員の選任、農業委員会委員の任命、はなぞの温泉「花圃の里」設置及び管理に関する条例の一部改正、各会計補正予算、税条例の一部改正、町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正などを審議し、可決した。

また、国民健康保険税条例の一部改正を審議し、賛成多数で可決した。



中谷川の増水によってえぐられた道路(大谷)

一般会計補正予算

豪雨災害対策

7億円予算措置

概要

台風第2号の影響による豪雨に伴う災害対策経費を予算措置した。総額7億1357万6000円で、内訳は災害見舞金21万円、道路・河川災害復旧工事費等3億5460万円、農業用施設等復旧・崩土取除工事費等1億4200万円、中志賀地区水道施設補助金850万円、林道災害復旧工事費7700万円等。

問 災害ボランティアの状況は。

住民福祉課長 6月5日

から延べ103人。別に災害専門ボランティアが30人、40人。

町長 専門ボランティアが現地でアドバイスをくれた。本町だけが県外からのボランティアを受け入れたので、大阪府などからも支援に来てくれた。

問 家電リサイクル商品で廃棄物になった物のリサイクル料は町が負担する。その排出量は。これ以外の災害ごみの排出のために町職員が家に入

った。これは町の歴史では初めてのことであった。処理方法は。

環境課長 家電は100

台程度。それ以外のごみの仮置き場は、西浜田児童館、見好公民館、旧志賀小学校グラウンドに置いた。ごみ量はおよそ140トンになる見込み。

問 今回の災害対応の

教訓をしかるべき時期にまとめるべきだと思うが。

町長 観測史上始まって以来の豪雨で大きな被害が出た。住民の生命と財産を守るといって、公務員は何をなすべきなの

かを考えて指揮した。真国川と四邑川が氾濫し、志賀と東浜田と西浜田に大きな被害が出た。6月3日の土曜日は、全職員を集め被害調査を行った。消毒は、乾いてからということだったが、ぬれた状態でも今回は実施し、搬入手数料免除承認書を持って職員が現場を歩いた。活動の総括については、広報などで住民に返していきたい。



短野 おおうら としかず 自治区長
大浦 俊一

素早い動きに感謝

経験の無い豪雨。町内に大きな災害が発生した。町職員や議員が素早く動き、復興に向けて頑張ってくれている。



給水施設が1m浸水し、ろ過機、滅菌機などの大部分が使えなくなった

生活の飲料水 確保に向けて

概要

中志賀地区飲料水供給施設は、豪雨の被害を受け配管が寸断され大規模な復旧が必要になった。当面は旧施設を使って飲料水を供給する。

町内水道の種類

種 類	対 象
上水道	5001人以上
簡易水道	区域内101人～5000人
飲料水供給施設	2戸以上の世帯

問 中志賀地区水道施設補助金850万円の補助基準と、給水軒数は。

健康推進課長 補助基準は、かつらぎ町飲料水供給施設整備事業補助金交付要綱に基づき事業費の2

分の1で予算計上している。給水軒数は27戸39人。

問 今回の改修は施設の老朽化ではなく、豪雨災害による大きな被害である。給水人口の少ない地域では、多くの負担金が必要になる。補助の上

乗せはできないのか。

町長 今回の予算計上はとりあえずの予算であり、詳細な調査をしなければ確定しない。災害であるため復旧には配慮が必要。地元と柔軟に協議をして取り組みたい。



中志賀水道組合
たにぐち ひろやす
谷口 博保 組合長

町の対応に感謝

配水管が基礎ごと流され断水を余儀なくされた。給水車の配置など町の迅速な対応があり大変助かりました。

さらなる 子どもの安全対策を

概要

こども園バス乗降者のマニュアル、スクールバス実施計画を作成して子どもの安全に努めている。今回、国のガイドラインにより降車時確認式・自動検知式装置を装備する。

問 装置の役割は。日常の仕事なので指さし確認や点呼などマニュアルの工夫を。

教育総務課長 ヒューマンエラーへの対策として、あくまでも補助的なもの。マニュアルについては工夫したい。



下天野
どい 土井
かよ 佳世 さん

さらに安心

園では二重三重チェックをしてくれているので有難い。子どものことは何が起こるか分からないのでさらに安心です。



町行政を正しく行うために、詳細な答弁が行われていることを身近に実感することができた。（20代男性）

・議会を傍聴して

国保税

どこが？どう変わる？

概要

国民健康保険税の賦課税率の改正および新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税の減免実施に伴う改正。

賦課割合

(単位：%)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度～
所得割	45	47.5	50
資産割	6	3	0
均等割	34	34.5	35
平等割	15	15	15

1人当たりの税額比較

(単位：円)

	令和4年度	令和5年度
基礎分	79,600	80,000
支援分	24,600	28,400
介護分	25,600	29,500
合 計	129,800	137,900



問 1人当たり8100円保険税が上がる理由は。

健康推進課長 医療の高度化で1人当たりの医療費は増加。県内の標準税率より本町は低いので、来る税率統一に向け調整している。

問 応能割52%、応益割48%にできないか。
税務課長 令和3年3月会議で条例改正した結果、50対50となった。

県内の

医療水準は？

問 令和9年度に県内の保険税を統一するという県の方針はどうなったか。

健康推進課長 医療費水準と保険税収納率が大きいため令和9年度統一できず、統一は10年度以降となった。

問 人口減少の中で医療体制の格差がさらに広

がる可能性がある。

医療給付の格差が埋まらないのであれば、保険税を統一しない方が現実には合っているのではないかと。

町長 県内には医療水準の違いがある。これは同感。医療費の水準が違うことをもって、保険税の統一ができないとは考えていない。

討論

賛否が分かれる

国民健康保険税条例の一部改正

《反対》東芝弘明議員

根拠のない負担調整を改め、基金を活用し、保険税の値下げに踏み切るとともに、子どもの均等割を小学校入学までゼロにする。また、高齢者世帯の均等割を減額するなど、政策的な軽減対策の実施を求める。

《賛成》山下慎二議員

国民健康保険税条例の一部の改正については、適正な税額を確保するために毎年改正されており、被保険者に対して、負担軽減に配慮した条例改正である。今後の国民健康保険制度が安定的に運営されることを願う。





はなぞの温泉「花圃の里」

はなぞの温泉「花圃の里」設置及び管理に関する
条例の一部改正

みんなに愛される 花圃の里を目指して

概要

旧はなぞのふるさとセンター跡地に建設され、平成28年7月から指定管理者制度で営業開始。燃料価格および原材料価格の高騰により支出が増加しているため使用料の改定を行った。



はなぞの温泉「花圃の里」
ひがし かつみ 支配人

愛される旅館に

コロナ禍の中3年余りがんばってきました。今後も地域の方々に愛される旅館を目指し、努力を続けて参ります。

町内外の利用者内
訳と交通手段は。

令和
4年度の宿泊者数235
9人のうち65人、入浴3
504人のうち803人、
宴会86人のうち76人が町
内。自家用車がほとんど。

問 コミュニティバス
のダイヤが悪く、マイク
ロバスも廃車したので交
通手段を検討しては。

町長 交通手段は何らか
の対応が必要なので検討
したい。抜本的な考え方
の議論をすべき。

問 損益分岐点はどう
か。

花圃地域振興課長 1日
7・6人、年間2760
人の宿泊者があれば黒字。

問 料金改定により、
燃料費高騰と運営状況の
改善につながるのか。

花圃地域振興課長 利用
者が減少する恐れもあり、
指定管理者と協議したい。

一般会計補正予算

がん患者への 外見支援

概要

がん治療に伴う外見変化を補完するため、補整具を購入する費用の一部を助成する。治療に伴う心理的、経済的負担を軽減するとともに、就労等の社会参加を促進し、療養生活の質の維持向上を図る。

問 がん治療には医療
費が多くなる。少しく
も患者の負担を減らすた
め、補整具の補助を県費
に上乗せして、町単独の
補助をしては。

町長 始まったばかりの
制度である。今後の状況
を見て判断していきたい。

賛否が分かれた議案(6月会議)

件名	議員名 結果	溝北	松岡	東芝	大原	浦中	新堀	藤本	中谷	羽根	滝ノ上	山下	表具	大山
かつらぎ町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	11対1で可決	—	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(注) 溝北好一議員は、議長のため採決には加わらない。

○は賛成 ×は反対

議会を傍聴して

人生で初めての議会傍聴させていただきましたが、町長をはじめとした職員と議員さんの討論等が想像以上に活発であり非常に驚きました。(20代男性)

4000円のクーポン券配布

4月会議
5月会議

4月会議(4/21~25)	
補正予算	1件
条 例	2件
5月会議(5/15~18)	
補正予算	1件

4月会議は、印鑑条例の一部改正や補正予算等があり、全員賛成で可決した。
5月会議では、補正予算が提案され、全員賛成で可決した。

一般会計補正予算

住民税非課税世帯
子育て世帯への給付

概要

電力・ガス
・食料品等
の価格高騰
による負担増を踏ま
え、住民税非課税世
帯等に対し、1世帯
当たり3万円、子育
て世帯等へは子ども
1人当たり5万円を
支給する。



妙寺
さくらい くに お 桜井 邦男 自治区長

早く支給して

最近の物価は異常な
値上がりです。子育て
には多くのお金が必要
です。至急給付金を支
給してください。

応援クーポン券
配布

概要

町民に1人
4000円
クーポン券
とごみ袋引換券を配
布する。



大藪
うらべ 浦部 ゆみ 有美 さん
あさひ 旭 ちゃん

大変有難いです

1人4000円は、
価格高騰の影響を受け
ている世帯にとって大
変有難いことです。

問 今回のクーポン券
は、どのような形になる
のか。また発行はいつ頃
になるのか。

産業観光課長 500円
券8枚とごみ袋引換券2
50円が1冊となってい
る。今回は町内個人事業
者との使い分けはなく、
共通券のみとなっている。
8月10日までは配達す
る。

問 前は、ごみ袋小
を、ごみ袋大に交換できな
かった。今回はどうなる
のか。

環境課長 今回は引換券
に不足分を足すことで、
大の袋に交換できるよう
にした。



印鑑条例の一部改正

コンビニで
印鑑証明交付

概要

年度内にス
マートフォ
ンを使用し
て、コンビニエンス
ストア等にあるキオ
スク端末で印鑑登録
証明書が交付申請で
きる。



丁ノ町
きのした さ ち 佐知 さん
木下

不安の解消を

個人情報取り扱いに
関して、解決すべき課
題があるのではないで
しょうか？住民の不安
を取り除いてほしいで
す。

政務活動費の収支報告

政務活動費とは、議員が調査研究などの活動を行うために経費の一部として交付される。本町では、議員に対して、1人当たり月額1万5000円を基礎とした年間18万円（上限）が活動実績に応じて支払われる。

活動終了後、実績報告書に領収書等を添えて議長に提出し、報告内容の確認後に政務活動費が支払われる。収支報告はホームページでも公開している。

令和4年度政務活動費収支一覧 (単位:円)

議員名	交付額	交 付 内 訳									
		研 究 費	研 修 費	広 報 費・ 広 聴 費	要 請 陳 情 等 活 動 費	会 議 費	資 料 作 成 費	資 料 購 入 費	事 務 所 費	事 務 費	人 件 費
溝北 好一	52,629						5,799	46,830			
松岡 宏行	120,000			120,000							
東芝 弘明	26,274		1,800					24,474			
大原 清明	28,000							28,000			
滝ノ上 万記	100,575						66,040	34,535			
合 計	327,478	0	1,800	120,000	0	0	71,839	133,839	0	0	0

※交付額は、議員1人当たり月額1万5000円を基礎とした年間上限18万円。

ただし、令和4年度は8月～翌年3月までの8カ月分(12万円)。

※一覧に氏名のない議員は交付を受けていない。

支出項目の内容

項 目	使 途 内 容
調査研究費	議員が行う町の事務、地方行財政等に関する調査研究(視察を含む)および調査委託に要する経費
研修費	①議員が行う研修会、講演会等の実施に要する経費 ②団体等が開催する研修会、講演会等への議員および議員の雇用する職員の参加に要する経費
広報・広聴費	議員が行う活動の広報・広聴活動に要する経費
要請陳情等活動費	議員が行う要請陳情活動、住民相談等の活動に要する経費
会議費	①議員が行う各種会議、住民相談会等に要する経費 ②団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費
資料作成費	議員が行う活動に必要な資料を作成するために要する経費
資料購入費	議員が行う活動のために必要な図書、資料等の購入、利用等に要する経費
事務所費	議員が行う活動のために必要な事務所の設置および管理に要する経費
事務費	議員が行う活動に係る事務の遂行に要する経費
人件費	議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費

総務産業常任委員会

非常時でも機能する
議会を目指す4月20日、5月15日、6月5日
委員会開催。

災害や感染症拡大などの非常時においても、議会機能の維持回復を図り町民の安全確保と災害復旧に向け町との連携を十分取って、迅速かつ適正な災害対策活動が行える組織体制や議会および議員の基本的役割等を定めた、災害対応マニュアルおよび議会業務継続計画（BCP）を本年度中に策定することになった。それを受け、先進事例調査ならびに地域防災計画の内容説明を受けた。先進地視察を実施し、早期に策定することを委員会で確認した。

去る6月2日の台風第2号の豪雨災害で、記録的な被害を受けた本町の現状を目の当たりにした状況で「悠長なことをしている場合ではない。早急に策定しよう」との声があり、年内策定を全委員で確認した。



国道480号と林道瀬ノ谷線の合流点(花園久木)



藤本 憲一 委員長

非常時の議会運営を確立する議会BCPを早期に策定するよう全力で取り組みます。

厚生文教常任委員会

し尿汚泥堆肥化視察と
こども園を調査へ

6月6日委員会を開催。

2022年2月のウクライナ侵攻以降、物価や資材の高騰により特に肥料が3割以上の値上がりが続ぎ、農家の収入が激減。農業用肥料はほとんどが輸入に頼っているため、海外の情勢によって価格に大きな影響が出ている状況。このことを踏まえ、委員会は、し尿汚泥を堆肥化する事業について調査研究するとともに、先進地への視察を行うことを決めた。

また、所管事務の中で意見が出ていたこども園の現状について、調査を検討中。保育士の働く環境と、子どもたちの安全を確保し、保護者の安心をどのように得られるかが課題となり、保育士および子どもたちの環境を注視しながら、今後調査を進める。

こども園で遊ぶ
子どもたち

大原 清明 委員長

保育の環境はじめ現状調査と、下水道汚泥の利活用に対する意見等もあります。

議会運営委員会

議会基本条例等の 見直しスタート

5月18日、25日委員会開催。

通年議会実施から9年、議会基本条例制定から6年が経過し、制度上も改正が求められる点が生じている。通年議会の理念も定着している。委員会は、今までの成果と課題を踏まえて今年度中に議会基本条例等の見直しを行うこととなった。

まずは、議会基本条例と議会基本条例の検証資料（令和2年、当時の議会運営委員会が作成）を読み合わせ、5月25日に第1回の意見交換を開始した。さらにあと2回程度、協議を行う見通し。それ以後、協議の仕方を決め、審議を進める。



委員会風景

ある議員研修のとき、講師から「繰り返し基本条例を見直して下さい」と言われました。見直しを怠りあるものになります。



東芝 弘明 委員長

広報広聴特別委員会

会津若松市議会を視察

4月13日、6月12日委員会を開催。

4月13日は福島県会津若松市議会への視察についての事前学習を行った。また令和5年度議会モニターの応募状況、令和4年度のモニターレポートについて報告を受けた。

5月9日、会津若松市議会の視察研修を行った。会津若松市議会は議会基本条例

への議会報告会、住民懇談会を開催し、住民の意見を政策に反映できるよう取り組んでいる。

6月12日の委員会は、視察研修の報告ならびに今後の取り組みについて話し合った。今後、住民懇談会を開催する方向で意見が一致した。



会津若松市議会視察

今後は住民懇談会の実施に向け、委員会での議論を深めていきます。



新堀 行雄 委員長

こんな施策が喜ばれています



こども園・幼稚園・小中学校給食費無償化

月に5000円ほどかかる給食費。3歳から5歳児の給食費および町内小・中学校の給食費を無償としている。また、町外の小・中学校に通学する児童・生徒に対しても給食費相当額を補助する。

支援はありがたい
給食費や保育料の
無償化等、子育てに
不可欠な部分での支
援はとてもありがた
く思っています。



かつおか のぶこ
佐野 暢子 さん
ふうた
楓太 ちゃん

保育料の完全無償化

こども園等を利用している0歳から5歳の子どもの利用者負担額（保育料）を無償化している。



充実した健診・教室で母子をサポート

妊娠準備期から保健師が相談に応じている。また、出産後は赤ちゃんとお母さんの心と体の健康のために、訪問や健診、教室を開催している。

18歳まで子どもの医療費が無料

風邪やケガなど、子育て中はなにかと医療費がかかる。平成31年度から医療費の補助対象年齢を15歳から18歳に引き上げて、自己負担を全額助成している。

いきいきサロン事業

地域において、参加者が主体となって自主的に運営する介護予防、認知症予防、生きがいづくりおよび社会参加を促進する地域の拠点づくりなどの活動に補助金を交付する。

緊急通報システム 設置事業

65歳以上の身体病弱な一人暮らし高齢者などが、急病等の緊急時に委託事業者を通じた支援体制等により、迅速かつ適切な対応を図る。

高齢者支援

高齢者見守り配食サービス

高齢者等に対して、配食を活用して見守り訪問を行い、体調面等の状況と安否を確認する。もしも異常があった場合は、緊急時連絡先に連絡をする。

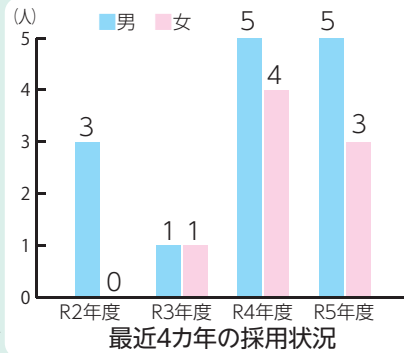
ぜひご利用を
高齢者の安全を
見据え、安心して
快適に暮らせるよ
う考えられた施策
となっています。
ぜひ利用しましょ
う。



町民生児童委員協議会
たむら てつお
田村 哲男 会長

新規採用町職員

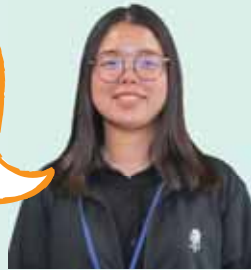
が議会傍聴



本町は、新規採用の職員研修の一環として、議会傍聴を毎年6月に実施している。今年は6月15日の本会議を8人の職員が傍聴した。

議論が繰り広げられており圧倒された /

町職員と議員が議論する様子を目の当たりにし、議員が議案の内容を熟知し質問をしている場面を見て、町のために一生懸命に活動されている姿に感銘を受けました。



はらだい あやな
原代 采奈

町の行政を知るにはすぐ良い機会になると感じました。配信も行っているので住民にも気軽に傍聴してもらう機会がもっと増えるといいなと思いました。



いとがわ まな
糸川 真奈

傍聴席からでも議会の厳粛な雰囲気や緊張感のある空気が伝わってきました。今回の傍聴は、自身の浅学さを知る良い機会となり、もっと知識を身に付けようと思いました。



ほった いつき
堀田 樹

さまざまな町の提案・予算・条例について審議がされていた。国民健康保険税の審議では、適切な医療を受けるためには、住民負担をどうすればいいのか考えるきっかけとなりました。



にしがき けいこ
西垣 圭子

初めて聞く言葉が多く話についていくことで精いっぱいでしたが、普段の業務で経験できない貴重な体験ができ、より質の高い議会が開催されることでより良い町政運営につながると感じました。



いわもと しゅんや
岩本 隼也

これまで議会のイメージはあまりなかったのですが、実際傍聴してみると、職員と議員の立場それぞれからの見解と意見があり、また、一地方自治体にとどまることのない議論が繰り広げられており圧倒されました。



もり た ひろふみ
森田 大文

町長をはじめ課長が議員の質疑に対して真摯にかつ、分かりやすく答弁されていて町長や課長への信頼感が高まりました。また議員も、かつらぎ町の発展のためにたくさん情報を集めていることに驚きました。



まる お しゅうへい
丸尾 周平

議論を深めていく様子を間近で拝見させていただいたことで、住民にとって安心・安全で住みやすいまちづくりを行うための、重要な役割を議会が果たしているということを改めて実感することができました。



まえかわ ゆうと
前川 裕斗

一般質問

町民のおもいを届ける60分

一般質問は、町政に関する提案や質問を行うもので、持ち時間は1人60分。
記事は質問者が作成したものである。

ページ	質 問 事 項	質 問 議 員
13	夏祭りまでにかつらぎ公園の補修を	 滝ノ上万記
14	女子トイレに生理用品の設置を	 東芝 弘明
15	住民が望む「ドア・ツー・ドア」を	 表具 弘
16	ニーズや現状を考えた3つの提案	 大山 希世
17	ユニバーサルデザインの推進を	 山下 慎二



中阪町長

各ページ議員名の下の
二次元コードを読み取ると
YouTubeで質問映像を
見ることができます。



6月2日と3日の豪雨災害に対し、町は住民の生命と財産を守るために救援活動を実施した。この最中に町長から「会議日程が変更されれば一般質問にも対応する」という意見が出され、議会は、8日、9日の2日間予定していた一般質問日程を16日に変更した。質問に立った議員は5人。災害対応を考慮し質問を取り下げた議員が2人、質問項目を減らした議員が1人あった。



夏祭りまでにかつらぎ公園の補修を



滝ノ上万記 議員



建設課長 夏祭りに間に合うよう補修を行う考え

問 今年の8月によ
うやくかつらぎ公園で
夏祭りが行われる。祭
りには町内外から多く
の来訪者があるが、公
園内の設備の劣化が目
立つ。例えば公園内の
一番大きな看板のペン
キが色あせて文字が読
みづらくなっており、
その役割を果たしてい
ると思えない。その
他、公園内のプール付
近の路面はひどく荒れ
た状態となっている。
祭りの日は小さな子ど
もたちもたくさん来場
する他、飲酒している
大人もあり転倒のリス
クが想定される。祭り
の日までに、劣化して
いるこれら公園内の設
備等の補修を行うべき

と考えるが見解は。
建設課長 指摘のとお
り、公園内の看板は、
経年劣化により文字が
見えにくくなっており、
塗り替えが必要な状況
である。祭りの開催に
間に合うよう看板の補
修を行う方向で検討す
る。
生涯学習課長 プール
周辺の路面舗装の破損
箇所についても現在修
繕に向けて進めている。



かつらぎ公園の色あせた看板

祭り開催に間に合うよ
う取り組みたいと考え
ている。万が一間に合
わない場合は、応急的
な修繕工事を行う。

ごみ分別アプリの導入を

環境課長 導入を検討する

問 ごみの分別方法
は各市町村で異なるた
め、他の市町村から本
町へ引越してきた
人は慣れるまで戸惑う
ことが多いと聞く。そ
のため、コストもあま
り掛からないスマホ用
の「ごみ分別アプリ」
を本町でも導入すれば、
これらの困難を解決で
きると考えるが見解は。

環境課長 本町では、
可燃性ごみと不燃性ご
みで、合計21種類の分
別収集を実施している。
そのため他市町村から
転入した人は、戸惑う
ことがあると思われる。
ごみ分別アプリには大
変便利な機能がついて
いるため、本町も今後
導入に向けて検討して
いきたい。



女子トイレに生理用品の設置を

教育長 前向きに検討したい



東 芝 弘 明 議員



問 令和4年3月に発表された厚生労働省の資料によると、生理用品の購入・入手に苦労したことが「よくある・ときどきある」と回答した人は8・1%あった。多いと思うが、**教育長** 深刻な課題。実態をつかむ必要がある。

問 アンケートは有効か。
教育長 小学校4年生から対象にしたい。

問 東京都港区の調査では、生理用品がなくて困ったと答えた児童生徒は17%。持参するのを忘れた人が95%。家庭で購入や準備がで

きなかったというのが5%あったが。
教育長 本町でも保健室で対応できない可能性がある子どもがいるのではないかと。生理用品をトイレに配置するかどうか、前向きに検討したい。

問 アンケートを取り、設置も前向きに検討するということで期待したい。長野県松本市は、市内170の施設の385カ所のトイレに、今年の3月8日から生理用品を置いた。

RED BOX JAPANというチャリティ団体に連絡すると無償で送ってくる。この取り組みは参考になるか。
町長 素晴らしい事例だと考える。

問 女子トイレに生理用品を置いてほしい。
町長 持続可能な仕組みを構築し、実施をすることが必要だと感じる。実証実験なども視野に入れ、設置に向けて検討したい。

建物の外に喫煙場所の設置を

問 受動喫煙の危険性は。

健康推進課長 脳卒中や肺がん、虚血性心疾患等の疾患の死亡率が上昇したり、非喫煙妊婦でも、低出生体重児

の出産の発生率が上昇する。小児ではぜんそく、気管支炎といった呼吸器疾患等と関連がある。病気になるリスクでは、脳卒中や肺がんは1・3倍、虚血性

心疾患では1・2倍になる。乳幼児突然死症候群は4・7倍。年間で約1万5000人が亡くなるといったデータもある。

問 庁舎等による受動喫煙防止の基本点は。
健康推進課長 原則敷地内禁煙だが、特定屋外喫煙場所として区画され、喫煙場所である

旨を記載した標識を掲示、施設を利用する人が通常入らない場所であれば設置できる。

問 総合文化会館と庁舎の屋外に写真のような喫煙場所の設置を。
教育長 適切などころに確保したい。
町長 喫煙者・非喫煙者のニーズを満たせる設置を検討したい。



屋外型喫煙場所(見本)

住民が望む「ドア・ツー・ドア」を

町長 JR和歌山線を残していきたい



表 具 弘 議員



問 現状のコミュニティバスとデマンド型乗合タクシーは、地域住民の要望を満たしているのか。

総務課長 現状、限られた幹線部を運行しており町全域を網羅できていない。特に山間部は、運行できていない地域もあり、住民の要望を十分満たしているとは、現状では言い難い状況である。

問 かつらぎ町の公共交通空白地の定義・基準は。

企画公室長 交通手段が運行していない地域、おおむね駅から半径1000m以上、バス停から半径500m以上

距離がある地域が、一般的な地域公共交通の空白地であると認識している。

問 地域公共交通会議のメンバー構成は。令和3年度以降、具体的な議論の内容は。

総務課長 地域公共交通会議の委員構成は、かつらぎ町地域公共交通会議設置要綱第3条に規定しており、現在、町や県、警察の行政機関のほか、旅客運送関連団体など12団体により委員を構成している。令和3年度および令和4年度の開催実績はない。

問 住民が望む「ドア・ツー・ドア」を実施するのか。現状事業を維持するのか。

町長 「ドア・ツー・ドア」で、いわゆる町内全ての場所へ移動可能とするという公共交通を構築する考えはない。その理由は地域



唯一の公共交通機関であるJR和歌山線があり、このJR和歌山線を将来にわたり残していきたい。

問 町長は過去答弁において「ドア・ツー・ドア」に関して発言している。これらはどのように理解すればよいのか。

町長 エリア型の「ドア・ツー・ドア」を考えるべきであると答えている。町内を全て「ドア・ツー・ドア」で移動することは考えていないと答弁をした。



利活用すべき中飯降駅前ロータリー

問 次回町長選挙に出馬表明している。選挙に当選した場合、次の4年間もエリア型以外の「ドア・ツー・ドア」を導入する予定は無いのか。

町長 今後についての話なので、ここで話す状況ではない。

ニーズや現状を考えた3つの提案

町長 多くのニーズに対応できるシステムを



大山希世 議員



問 本町の公共交通はコミュニティバスとデマンド型乗合タクシー。その対象にならない地域は先般、買物ツアーバスの実証実験を行った。どちらにも対象にならない地域がある。町の75歳以上の人口割合の推移は。

住民福祉課長 20年前の人口は2万534人に対して12・29%。令和5年4月時点では1万5815人に対して22・85%の割合。

問 高齢者の公共交通に対し日頃からの要望はどんな声が多いか。

総務課長 紀北分院から帰る便が合わない。JRとデマンド型乗合

タクシーの乗り継ぎ連携が取れていないなど。

問 買物ツアーバスの実証実験を終え、移動支援に関して問題点と課題は。

企画公室長 停留所が遠い。農繁期で時間も合わないなど不便な面もあったと検証。今回の検証結果を踏まえ、さまざまな利用者のニーズに応じた移動支援の方法を検討していきたい。

問 各地域の現状やニーズに合った運営の方法を3つ提案する。



問 誰しも寿命を終えるまで自分の足で歩き移動したい。体づくりフロアのさらなる活用で筋力アップし、100歳まで自分の足で歩くことを目指すための提案をする。利用状況は。

健康推進課長 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前、平成30年度は延べ人数で1万468人。令和4年度は5977人。

問 文部科学省がまとめた『新体力テスト』の対象は。

イバーの確保や運営は地域でする方法。
②ドライバーが確保できない地域には、集落支援員を配置する方法。
③富山県朝日町が実施している住民同士の助け合いで成り立つ、新しい公共交通の方法。

町長 多くのニーズに対応できる公共交通システムの構築を検討していく。

筋力と平均体温のアップを

生涯学習課長 調査の対象は6歳～79歳で、テスト項目を世代ごとに4つに分けている。

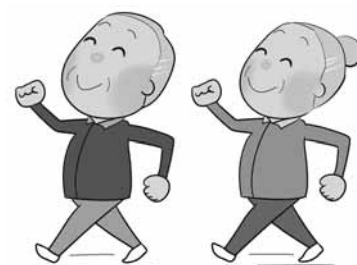
問 テスト結果に基づいたトレーニングメニューを組み立てることとは可能か。

健康推進課長 フロアの健康運動指導士に相談してもらえば必要なトレーニングメニューを提案できる。

問 健康的な生活を営む上で、筋力アップと平均体温を上げることとは、非常に重要。町

長の考えは。

町長 自分の意思で行きたい場所に自由に行くことが、移動するということだが、人間本来の欲求である。加齢とともにさまざまなことが起こるが、それも含めて今後どういった形で自分の健康を維持していくかは重要。歩くということをしつかり意識した筋力アップトレーニングを推奨していきたい。



ユニバーサルデザインの推進を

町長 全ての施設を調査していく



山下 慎二 議員



問 今まで障害者の人から、改善の要求や、問い合わせ、苦情などがなかったか。

総務課長 庁舎には、エレベーター・エスカレーターがなく、高齢で足の不自由な人が2階へ行く場合は、大変であるとの意見はもらっている。また、視覚障害者の団体より、敷地内の点字ブロックの充実について要望があった。

問 障害者の人に対する、接し方や介助について、職員および公民館長や主事にも勉強会や講習などが行われているのか。

総務課長 聴覚障害者

に対応できるよう、手話講座に職員を参加させており、延べ28人の職員が受講している。
生涯学習課長 公民館主催の障害者の暮らしについての人権講座、手話講座、認知症サポート・養成講座にも、館長および主事が参加している。

問 職員の対応と、議会の存在意義、多様な層の住民が参画する意義について。

副町長 議員をはじめ職員、傍聴する住民が何不自由なく議場に入りし、議論を交わし、傍聴してもらうことによって議会の存在意義、多様な層の住民が参画する意義が増していくと考えている。バリアフリー化に対する対策を適切に講じてこなかった町に大きな責任があると考えている。

問 避難時における、障害者や、介助する家族も含めての、誘導や案内の対策や対応はどのようになっているのか。

危機管理課長 視覚障害のある人と避難所での動線確認を行った際、点字ブロックの必要性も聞き、シート式の点字ブロックの導入を行った。今後も障害のある人、家族の声を聴く取り組みをし、より実効性のある備えを進めたい。

問 地域防災計画策定において、検証、検討し、防災訓練などで周知しているのか。

危機管理課長 自主防災組織の人が参加する防災教室を開催しており、要配慮者への対応を協議するなど、安心につながる地域での体制づくりに取り組んでいる。問題点についての認識を事前に共有することは大事であり、

さまざまな問題についても、防災教室で取り組み、避難所の体制づくりに努めたい。

問 バリアフリー化およびユニバーサルデザインの普及についての考え方と、どのように実行していくのか。

町長 少数者の意見を取り入れられる、寛容な社会でなくてはなら

ないと思っており、福祉に対しては、費用対効果を導入するべきではないと考えている。一度、全ての施設について調査を行い、改善できるところは改善をし、ユニバーサルデザインの推進については、積極的に進めていきたい。



本庁舎ロビー

ユニバーサルデザインマークの一例→



非常に建設的な議論をされておりましたので、大変興味深く傍聴しておりました。
(50代男性)

議会を傍聴して

令和5年度

議会モニターの声

町民の声を議会運営に反映するため、議会モニター制度を実施している。提出された感想等レポートの一部を抜粋し掲載する。



議会だよりキャラクター
「かきかあちゃん」

本会議

議員・町関係者とも、発表者の声が大きくはっきりとしていて、大変聞きやすかった。町関係者の方の答弁の中には、議員の質問内容に対してもう少し簡潔にお答えした方が良かった、という場面が一部ありました。
(70代男性)

かつらぎ町応援クーポン券発行事業（ごみ袋専用券）について、議員の質疑内容が住民の意見（思い）で大変良かったと思います。
(60代男性)

今回、議会モニターとして初めて本会議を傍聴し、議事運営や発表者の発言内容など、非常に好感が持てました。テレビで見る国会中継とは大違いで大変良かったです。
(70代男性)

今回、行政の各担当者のみなさまが長い時間をかけて膨大な資料を作成することを知り、改めてかつらぎ町のために尽力されているのだと思い、敬服、感謝する次第です。
(50代男性)

議会だより97号を読んで

「あの人はこんな人」
1年間を通じて議員の皆さんの趣味、先月どこそこへ行ってこんなことがありました。議会だよりでコーナーを作る。
(80代男性)

議員さんの独り言など個別の枠を設けてはどうか。議会について問い合わせしたい時の連絡先欄を設けてはどうか。
(50代男性)

議会ホームページを見て

会議録検索システムが利用しやすいように工夫してほしい。
(60代男性)



令和5年度議会モニターの紹介（順不同・敬称略）

氏 名	推 薦 団 体
脇田 浩司	公募
木下 喜世幸	公募
山下 利香	公募
長谷 芳明	公募
北口 忠史	町商工会
奥田 裕規	町青年団体連絡協議会
酒井 義昭	町老人クラブ連合会
田村 哲男	町民生児童委員協議会
草田 満喜子	町女性会議
関原 啓史	佐野こども園保護者会
高根 輝	三谷こども園保護者会
宮本 弘美	町身体障害者会
芦田 唯	町PTA連合会

9月・12月の会議日程を決定

令和5年12月会議

月日	曜	種 別	内 容
12月 1日	金	本会議	会議日程の決定 諸報告 提出議案説明
2日	土	休 日	
3日	日	休 日	
4日	月		
5日	火		
6日	水		
7日	木	本会議	一般質問
8日	金	本会議	一般質問【予備日】
9日	土	休 日	
10日	日	休 日	
11日	月		
12日	火		
13日	水		
14日	木		
15日	金		
16日	土	休 日	
17日	日	休 日	
18日	月		
19日	火	本会議	議案質疑～採決 委員長報告
20日	水		
21日	木		
22日	金		
23日	土	休 日	
24日	日	休 日	
25日	月		
26日	火		
27日	水	本会議	【予備日】

令和5年9月会議

月日	曜	種 別	内 容
8月 28日	月	本会議	会議日程の決定 諸報告 提出議案説明
29日	火		
30日	水		
31日	木		
9月1日	金		
2日	土	休 日	
3日	日	休 日	
4日	月		
5日	火	本会議	一般質問
6日	水	本会議	一般質問【予備日】
7日	木		
8日	金		
9日	土	休 日	
10日	日	休 日	
11日	月		
12日	火		
13日	水		
14日	木		
15日	金	本会議	議案質疑～採決 委員長報告
16日	土	休 日	
17日	日	休 日	
18日	月	祝 日	「敬老の日」
19日	火	本会議	【予備日】

各委員会の日程は、議会運営委員会で決定する。

概要

本町議会は通年議会を採用しているため、会期は令和5年1月6日～12月27日までの356日間、この間にはいつでも議会を開催できる。また、3月、6月、9月、12月には定例会の議会を開催している。

議会の会議日程は、その都度協議して決定しているが、町長や議員などの日程調整が必要で、定例会の日程は、できるだけ早く決めることが求められていることから、9月・12月会議の日程を決定した。

表紙写真紹介



笠田小学校のスクールバスは朝7時50分ごろ、学校に到着する。

写真は四郷コースの子どもたち。今日も元気に学校が始まる。

お詫びと訂正

議会だより97号中19頁へ掲載の本文中に一部誤りがありましたのでお詫びします。

(誤) 基本的人間

(正) 基本的人権



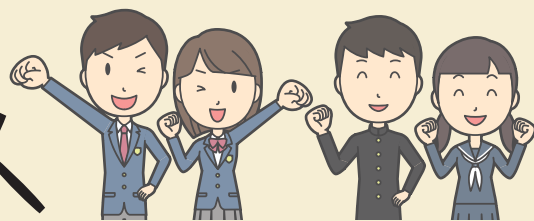
議会を傍聴して

町営のフィットネスを利用するのも一つでしょうが、正しいウォーキングの仕方「姿勢・歩行スピード等」について広報に記載されては如何でしょうか？(70代男性)



紹介

がんばる人



これからの「**かつらぎ町**」を担うのは**君**だ！

次世代シリーズ「がんばる人」は、スポーツや文化活動などで頑張っている子どもたちを紹介します。学校の中だけでなく、さまざまな分野で一生懸命に取り組む姿を応援します。

- ①今、頑張っていること
- ②始めたきっかけ
- ③将来の夢
- ④かつらぎ町の好きなところ



大谷小学校6年
うえだ かいと
上田 快人さん

- ①楽譜を見ずに弾き、ペダルを使いこなす事です。
- ②ピアノをひける男子はカッコいいからです。
- ③みんなを笑顔にできる仕事につきたいです。
- ④あいさつを笑顔でかえしてくれるところです。

渋田小学校4年
こやなぎ ちあき
小柳 千晶さん



渋田小学校3年
こやなぎ わか
小柳 和香さん

- ①桃の木の剪定をしたりして手伝っています。
- ②見ていたら自分たちもしてみたくなったからです。
- ③農業をして、おいしい桃を作りたいです。
- ④果物がたくさんあるところです。



妙寺中学校3年
みぞばた あゆな
溝端 歩和さん

- ①夏のコンクールに向けてホルンの練習です。
- ②吹奏楽部の体験で吹いて一番楽しかったからです。
- ③絵をかくことができる仕事に就きたいです。
- ④季節によって違う果物が食べられるところです。

